

2015 年度活動報告 留学生 Week

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

1. 目的

留学生 Week は 2007 年より毎年 6 月に行っているもので、2015 年は第 9 回目となる。本学に在籍する留学生に対して発表の場を提供し、留学生間及び一般学生との交流を図り、それによって本学学生の国際性の向上に資することを目的としている。昨年度同様、国際教育・協力センターが行う「留学フェア」と同時開催し、「KG GLOBAL WEEK」として広報を行った。また、留学生 Week 期間を含む 2 週間、大学生協の後援で「各国ランチフェア」を行った。

2. 2015 年度の活動内容

今年度、日本語教育センターが企画して行った活動は、①Cool Japan トークショー in English、②日本語スピーチ発表会、③日本文化体験の 3 つである。

①は交換学生が日本で見つけた Cool なものを英語で発表するもので、「日本の魅力再発見 聞いてみよう！ 留学生の英語のプレゼン！」というキャッチフレーズで実施した。8 名の交換学生が“The Sound of Japan” “Gotochi Cards”等のテーマで発表し、司会は本学の日本人学生と交換学生が務めた。

②は交換学生、学部留学生在が「日本」に関連するテーマでスピーチするものである。学部留学生在と交換学生が司会を務め、37 名の留学生による「ダンゴ」、「だから笑顔！」等の全 30 件のスピーチ発表があった。日本語の流暢さを競うものではなく、いわゆるスピーチ大会用の練習も行っていない。様々なレベルの留学生が自分なりのことばで一生懸命伝える様子、彼らの自然な姿を見てもらうことを目的としているためである。

③は、日本語教育センターの職員が中心となり、書道、折り紙、茶道、昔の遊びを実施した。

3. 成果と今後の課題

活動に参加した日本人学生からは、「日本を見つめ直すきっかけになった」「留学生のスピーチの仕方から学ぶものがあつた」等の声が聞かれ、日本人学生にとっても良い学びの場を提供できたと思われる。

今回の活動で、本センターの教員が企画段階から担当したものは①と②だけであつた。③を見学した教員から、文化体験イベントにも企画段階から教員が携わってもよいのではないかと意見が聞かれた。今後、検討したい。